

令和5年度 第1回 多職種連携のための意見交換会 「訪問看護ステーション×安来市消防本部」

7月28日、安来中央交流センターにて「令和5年度第1回多職種連携のための意見交換会」を開催しました。

第1回は、訪問看護ステーションと安来市消防本部との意見交換会を行い、訪問看護ステーションから14名、安来市消防本部から4名参加して頂きました。

はじめに、消防本部警防課の足立和弥様より、救急搬送状況の実態を実際のデータを用いてお話し頂きました。

次に、テーマを「救急現場で困ったことについて話し合い、課題を考える」とし、課題を導き出すことをゴールとして、グループワークを行いました。最初に、自分が救急現場で困ったことを付箋に書き出し、次にグループで意見を出し合い、付箋を模造紙に貼り出し意見交換を進めました。

グループワークの最後には、各グループより討議内容を発表して頂き、「ある事例が、本当に救急搬送すべきであったのかどうか課題として残った」、「お互いの職種の役割を理解することが課題としてあげられた」という報告がありました。また「DNAR (Do Not Attempt Resuscitation)事例に対し、救急隊を呼ばないケースは思っていたより多かったことがわかり、勉強になった」と感想

を述べたグループもありました。困った体験を語る場、知らないことを他職種から確認できる場となり、時間が足りなくなる程活発な意見交換会でありました。

アンケートでは、「今回の意見交換会が、今後の救急現場で役立つと思うか」に全員がそう思うとの回答を頂きました。意見交換会全体を通しての感想でも、満足67%、やや満足33%と、満足度は高く、有意義な話し合いの場となったように思います。今後の意見交換会の参加に関しても78%の方から参加したいと回答を頂き、医師、施設の方、ケアマネジャーなど希望する他職種も提案して頂きました。

今後、意見交換会を重ね、多くの職種間での連携の輪が広がっていくことを期待したいと思えます。
ご参加頂いた皆様には、感謝申し上げます。



グループワークの様子



グループ発表の様子



全体の様子

訪問看護ステーション安来支部長
大江範江様より一言

消防本部と訪問看護ステーションで、お互いの情報共有ができて、今後の救急現場で活用ができると感じました。

